

# 図書館だより

金沢市立朝日小学校図書館  
2013年 3月

ぼくの大好きな1冊を おすすめします



本は、ぶあつけけれど、読みだしたら、止まりません。ネズミとイタチの戦いは、とてもおもしろいです。

## Tさん 冒険者たち ～ガンバと十五ひきの仲間～ 斉藤 惇夫・作 (岩波書店)



港の船乗りねずみの前に、血だらけのねずみが現れて、「自分の島（夢見が島のネズミ）をたすけてくれ。」といました。

さあ、助けにいくのでしょうか。

★ガンバたちは、知恵と力の限りをつくして、圧倒的な力を持つイタチに立ち向かいます。読みごたえのある1冊で、司書もおすすめ！

同じシリーズに『ガンバとカワウソの冒険』もあります。



## Aさん アイスマン ～5000年前からきた男～ ピーター・マッカーティー ・作 (金の星社)

エッタールアルプスのフィネル・ピークで見つかったアイスマンの生前のころ(時代)の生活を科学者が推測。このアイスマンの体から身長約163cm、体重約50kg、年令35～40才、ヨーロッパ人男性、イヤリングをしていたと思われる右耳、いれずみ、そして、生きていたのは石器時代の終わりごろ。それから5000年もの間、アルプスはかれをかくした。

ぼくは、昔の人の生活の「なぞ」を知るためにがんばる科学者にあこがれます。「なぞ」が好きな人は、ぜひ読んでください。

## Rさん ねこじゃら商店へいらっしゃい 富安 陽子・作 (ポプラ社)



ねこじゃら商店という小さなお店の、人間ではないお客と店主の白菊丸という名の年取ったブチねこの会話がおもしろいお話が五つあります。

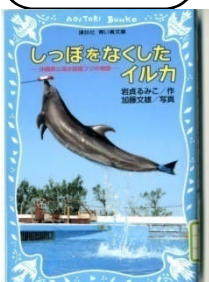
① バッタを買いにきたガマガエルの話 ② しっぽなくしたイタチの話 ③ くつを買いにきた男の子の話 ④ しっぽをもらった女の子の話 ⑤ 顔を買いにきたのっぺらぼうの話  
少しページ数が多いけれど、文字が大きいので読みやすいです。

★作者の富安陽子さんの作品には、「竜の巣」や小さいけれど勇気と行動力は人一倍の山神スズナ姫シリーズがあります。

ぼくは、3つ目と5つ目の話がおもしろかったです。

とてもおもしろく思いが強い話。よみがながふってあるので1年生にもおすすめです。

## Zさん しっぽをなくしたイルカ ～沖縄美ら海水族館フジの物語～ 岩貞るみこ・作 (講談社 青い鳥文庫)



イルカのフジが発病で、しっぽをなくしてしまった。そのフジを「もう一度泳がせてやりたい。」という水族館の人たちのあつい思いが詰まったノンフィクションの読み物です。

★タイヤメーカーのプリジストンの研究者たちとともに何度も何度も作り直してフジにぴったりの人工尾びれを作り上げるまでのお話です。フジが喜びのドルフィンキックをする光景が見えるようです。

うららにつづきます。1年生がおすすすめの本をおしよつかいします。



Tさん

### しろくまくん なにが きこえる？

エリック・カール・絵 ビル・マーチン・文（偕成社）

しろくまんからはじまってつぎつぎと「なにがきこえる？」きいていくおはなしです。

さいごは、子どもたちのこえがどうぶつのなきごえになっているから、さいごまでみてね。



しうくがかりが  
口ぶえをふいて  
いるところをよく  
見てね。  
よそ見をしている  
からさかなを  
おとしているよ。

Kさん

### おさるのまい日

いとうひろし・作（徳間書店）

おさるがみなみのしまにすんでいました。おさるたちはみんななかよしでした。

1年に一どか2ど、すいへいせんのおこうから、うみがめのおじいさんがやってきます。

おじいさんがおさるたちにおはなしをしてくれるところがおもしろかったです。「うんうん」といっばいいうからです。口ぐせなのかな。



Dさん

### ごきげんなすてご

いとうひろし・作（徳間書店）

おとうとが生まれて、かまってもらえずいえ出をした女の子。すて子になったけれど、おうちの人がおかえにきてすて子じゃなくなったのがおもしろいし、もとのおうちにかえったのがよかったです。

いろいろなどうぶつがすて子になります。

みんなしあわせになっていくからこの本はいい本だと思います。



「おさるのまいにち」も「ごきげんなすてご」もいとうひろしさんの本です。どちらも絵がかわいくてよみやすい、司書もこの本大好きです。

Jさん

### ピーター・ラビット

#### めくりしかけえほん

ベアトリス・ポター・作（大日本絵画）



ピーターがマクレーガーさんにおいかけてられているところがおもしろかったです。なかなかつかまらないからです。ピーターは、とてもいたずら好きです。どんないたずらをしているか、ぜひ、よんでたしかめてください。★この本はしかけえ本です。小さなえがひらけるようになっていて、絵をめくると、ことばがかいてあります。



## 2012年度、みなさんは本との絆(きずな)できましたか

この1年間 どんな本と出会いましたか。そして、なんさつの本を読みましたか。

4月には、新しい学年の顔でまたあいましょう。

学校図書館は、みなさんに読書という心の栄養をとどけていきます。

卒業生のみなさん、中学校へ進学しても本との強い絆で、夢に向かってください。

